

オーストラリアレポート

オーストラリア運用チームが語る同国の投資環境

2018年9月上旬、レグ・メイソン・グループでオーストラリア株式の運用を手掛ける「マーティン・カーリー・オーストラリア」から、ポートフォリオ・マネジャーのウィル・ベイリス氏が来日しました。

そこで、オーストラリアの為替や経済についてレグ・メイソン・アセット・マネジメントがインタビューを行いました。インタビューでは、経済レポートだけでは分からない、現地で生活するからこそ実感するエピソードに触れることが出来ました。今回は、インタビューの一部をレター形式でご紹介します。



最近、豪ドルは米ドルや日本円に対して下落していると感じます。やはり、米中貿易摩擦の影響ですか？



確かにオーストラリアは中国との貿易が盛んですが、為替相場下落は、それ以外の要因によるところが大きいと考えています。2018年以降、米ドルや日本円はほとんどの通貨に対して強くなりましたが、決して豪ドルだけが売られていたというわけではありません(図1①)。

最近、豪ドルが対米ドルで下落したのは、米国の金利上昇と減税政策が大きく影響しているものと考えています。

オーストラリアは、内需セクターが好調を維持しており、米中貿易摩擦のオーストラリア経済への直接的な影響は限定的になるものと考えています。

また、オーストラリアは米国から見て貿易黒字国であり、米国の保護貿易主義の影響を受けにくいと考えられます(図2)。

確かに、豪ドルだけでなく、ほとんどの通貨が米ドルに対して下がっていますね。



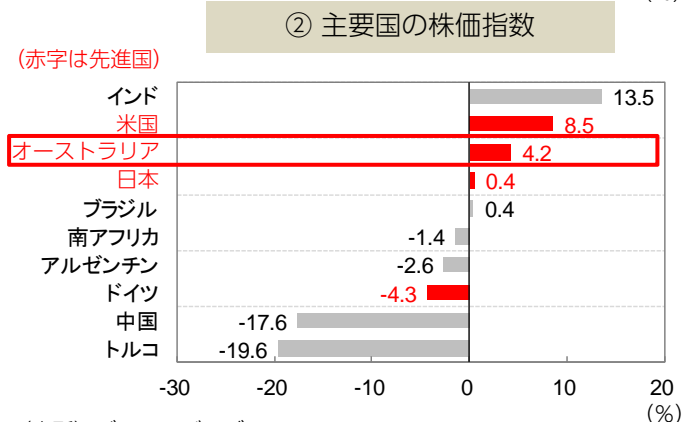
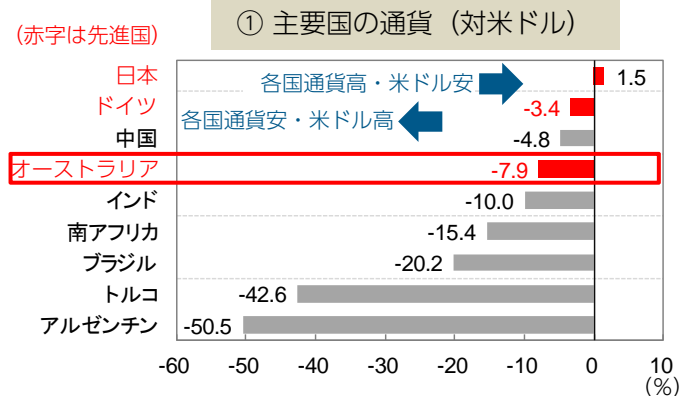
オーストラリア経済は内需に支えられて堅調に推移することが見込まれます。新興国の為替動向は注視が必要なものの、外部環境が改善すればオーストラリアの為替相場も好影響を受けるものと考えています。

世界の株価を見てみると、一部の新興国の株価は下落していますが、オーストラリアの株価は、通貨の動きに反して上昇しています(図1②)。

株価上昇の要因は内需拡大を背景とした堅調な企業業績と考えられます。今後も、若い人口の増加が、安定的にオーストラリア景気を下支えすることが期待されます。

【図1：年初来の株式・為替の騰落率】

(2017年12月末～2018年8月末)



(出所) ブルームバーグ
*インド：S&P・BSEセンセックス指数、米国：S&P500指数、オーストラリア：S&P/ASX200指数、日本：日経平均株価、ブラジル：ボベスパ指数、南アフリカ：FTSE/JSE アフリカ全株指数、アルゼンチン：メルバル指数、ドイツ：DAX指数、中国：上海総合指数、トルコ：イスタンブール100種指数

【図2：米国の貿易黒字国上位5カ国 (2017年)】

1	香港	325 億米ドル
2	オランダ	245 億米ドル
3	アラブ首長国連邦	157 億米ドル
4	ベルギー	148 億米ドル
5	オーストラリア	146 億米ドル

参考	中国	-3,752 億米ドル
----	----	-------------

(出所) 米センサス局
※財を対象に集計

米国にとって中国は最大の貿易赤字国

最近のオーストラリア経済はどうか？



足もとのオーストラリア経済は好調です。2018年上半期の実質GDP成長率は、2017年下半期との比較で年率+3.9%となり、他の先進国を上回りました。

身近な例では、私たちのオフィスのあるメルボルンの景気も堅調です。メルボルンの人口は過去1年間で2.7%増加と高い伸びを記録しており、人口増加を背景に道路、トンネル、路線を新設するなど、多くの大規模なインフラプロジェクトに取り組んでいます。

豪ドルについては、2014年6月の1豪ドル=0.94米ドルから現在1豪ドル=0.72米ドル程度まで下落しています。しかし通貨安は、オーストラリア経済には概ねプラスに働きました。

天然ガスや石炭の輸出拡大、また外国人留学生や観光客の増加による教育や旅行サービスの輸出拡大などを背景に、オーストラリアの貿易収支は改善しています（図3、図4）。

日本でも自動車メーカーのような輸出企業は円安で業績が良くなると聞きますし、ある程度の通貨安が経済成長のプラスに寄与するのは理解できます。



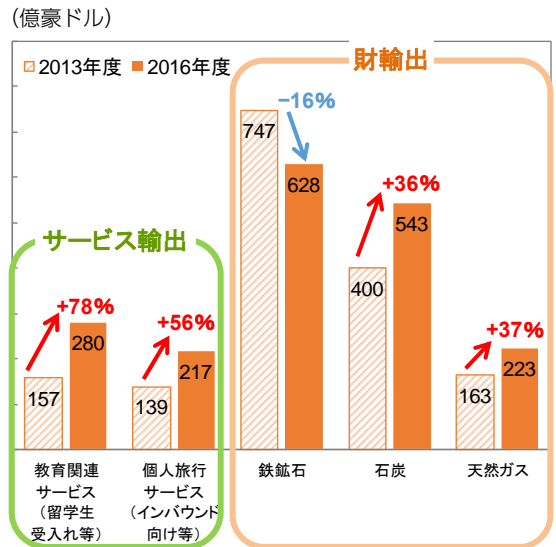
豪ドル安の影響もあって、海外よりも国内を旅行先に選ぶオーストラリア人が増えてきました。私の同僚も、オーストラリア北西部のキンバリー辺りでよくキャンプをして祝日を過ごしています。

国内旅行者の増加は、国内消費の増加やホテル、航空会社の需要の拡大につながります。



キンバリー地域

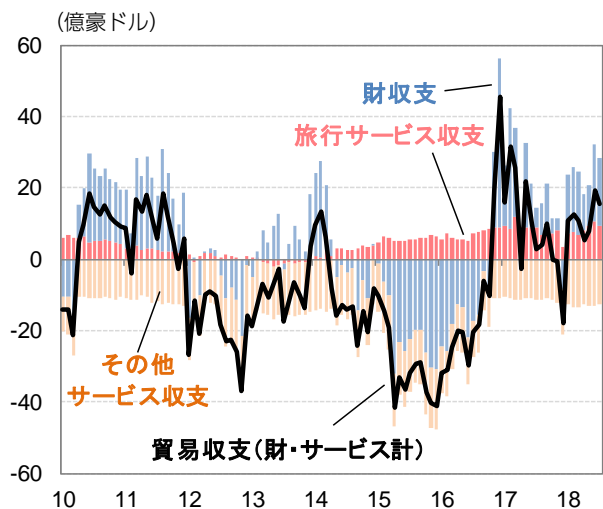
【図3：オーストラリアの主な輸出額の比較】



(出所) オーストラリア外務貿易省

【図4：オーストラリアの貿易収支の推移】

(2010年1月～2018年7月)



(出所) CEIC



オーストラリア北西部キンバリー地域のキャンプ風景

写真：レグ・メイソン・アセット・マネジメント

ところで今年は、国内景気に明るい話題があります。

どのような話題ですか？



7月から、所得税の段階的な減税が始まりました（図5）。

低所得者に重点が置かれた個人所得税の減税は今後10年間に亘って、総額1,440億豪ドル規模になると言われており、日本円で約11兆円の規模になります。

所得税減税の消費への効果は時間をかけて徐々に浸透し消費を刺激して、オーストラリア経済にプラスの影響をおよぼすものと考えています。

オーストラリアの家電量販店であるJB Hi-Fiの売上高は2018年7月から始まった所得税減税やワールドカップの影響等でテレビの販売台数が伸び、前年比で11%超増加しました。

私もサッカーを見るのが好きなので、今年は新しいテレビをJB Hi-Fiで購入しました。今シーズン、メルボルン・ビクトリーに本田圭佑選手が移籍したので、試合を観戦するのも楽しみです。

所得税減税がオーストラリア経済にじわじわと効いてくるのを期待します。最後に、今後の豪ドルの見通しを教えてください。



豪ドル/米ドル為替と交易条件*のチャートを見ても、現在の豪ドルは割安な水準であると考えています（図6）。

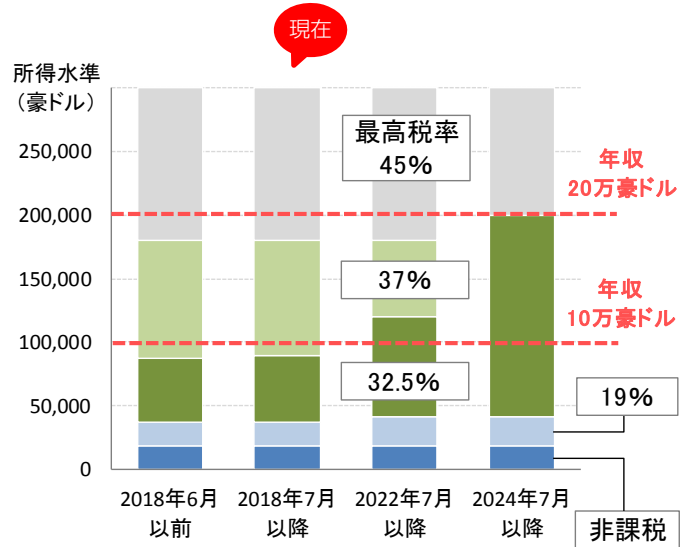
堅調なオーストラリア経済と交易条件の改善により財政収支及び経常収支が良好な水準となっていることを考えると、今後、豪ドル通貨は回復していくのではないかと考えています。

また、オーストラリアでの生活は、よりインフレになりつつある面も感じます。身近な話では、私の電気料金は過去1年間で12%以上上昇し、またガソリン価格も昨年よりも12.7%上昇しています。

なかなか上がってこなかったインフレ率の上昇から利上げの期待が高まってくると、過去の例からも豪ドル高につながっていくことも期待されます。

*貿易による利益を見る指標。この指数が上昇すると利益が大きくなることを意味する。

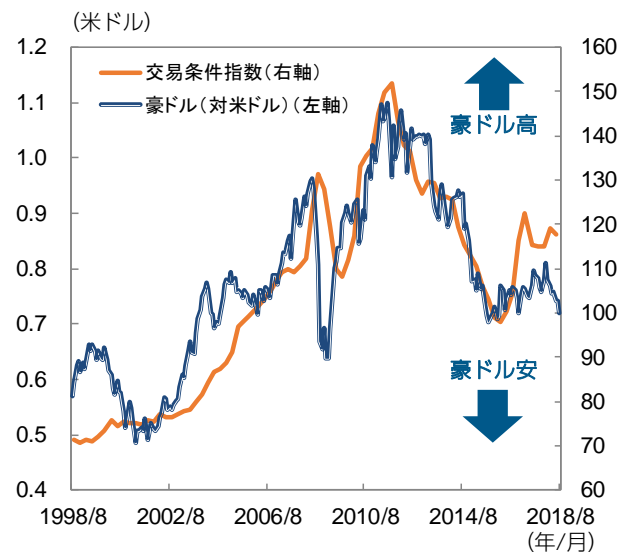
【図5：所得税減税の計画（オーストラリアの個人所得水準別の所得税率）】



(出所) 豪州国税庁、各種報道
*2018年6月21日に成立した所得税減税法案に基づく。

【図6：交易条件と豪ドル為替相場】

(1998年8月～2018年8月)



(出所) ブルームバーグ
*交易条件指数は四半期ベース、2018年6月時点



写真：レグ・メイソン・アセット・マネジメント

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>